

令和5年9月5日

日立理科クラブ通信



No.205

日立理科クラブ

理科室のおじさん研修会

8月30日(水)、教育プラザで行われた理科室のおじさん研修会を紹介します。

この研修会は、日立市内全小学校に配置されている理科室のおじさんの研修会です。日立理科クラブ開設時に、図書室にはおばさん(司書)がいて効果的に機能しているのだから、理科室にもおじさんやおばさんがいたら理科室や授業は変わるのではないかと配置されたもので、今考えても画期的だと思います。

瀧澤代表理事からは、「お陰で多くの成果が出ている。今日の研修で情報交換をして、行動に移せるようにして欲しい」、教育委員会倉橋指導主事からは、「ヒヤリハットは教育委員会でも共有している。学校と理科室のおじさんの連携を一層深めたい」というあいさつがありました。

研修の内容は盛りだくさんで、まず、次のことについて、事務局の河野理事や担当から報告がありました。



瀧澤代表理事



倉橋指導主事

- ①1学期の勤務状況について
- ②ステアリングコミティ実行委員会(教育委員会・理科教員・理科クラブの代表が、理科クラブの運営について協議する会合)報告
- ③理科室のおじさんを訪ねて事業について
 - ・理科通信で理科室のおじさんを紹介する特集を連載すること
- ④日立理科クラブオリジナル動画教材について
 - ・授業で使える動画を作成し、配布の準備をしていること
- ⑤ドローン教室(科学クラブ自主活動)紹介
 - ・クラブ活動の支援をできるよう準備していること
- ⑥水ロケット講座(放課後子ども教室)紹介
 - ・水ロケット大会実施に向けて、放課後子ども教室等で講座を実施
- ⑦日立栃木理科クラブ事例紹介
 - ・栃木理科クラブが自作した教材の紹介と活用について
- ⑧コロナ感染防止について



河野理事からの報告・説明

それぞれの説明に対して、研修会の参加者から質問や意見、情報提供など活発で前向きなやりとりがありました。子どもたちのために課題を解決しようとする姿があふれていました。

続いて、事例発表・紹介として、令和3・4年度の理科室のおじさんからの報告のうち、9月から12月分をまとめたものの紹介がありました。これを見ると、実験中にこんなヒヤリハットがあった、学校はこんなことで困ったということ共有することができます。2学期の準備を進めるうえで役に立つ事例紹介だと思いました。

最後に、豊浦小学校の理科室のおじさん上原勝彦さんから「南極越冬隊体験記」の発表がありました。上原さんは、1978年から1980年にかけて、26歳という最も若い隊員として派遣されたそうです。仕事は設営部門の機械担当で重要な仕事でした。講話では、南極の厳しい寒さについて、また、アデリーペンギンやオーロラとの出会いについて、動画やスライドを使って興味深く話してくれました。持ち帰ったという南極の石ガーネットも見せてくれました。そして、南極のような厳しい環境の中で最も大事なことは隊員が協力し合うことだと話していたのが印象的でした。

この研修会で共有した情報や体験を、それぞれの理科室のおじさんが子どもの理科好きに向けて生かしてくれると思いました。



ドローン教室紹介



講話する上原さん

